

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-137579

(43) 公開日 平成4年(1992)12月22日

(51) Int.Cl.⁶

G 1 1 B 23/087

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

1 0 4 B 7326-5D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 3 頁)

(21) 出願番号

実願平3-48784

(22) 出願日

平成3年(1991)5月31日

(71) 出願人 000004329

日本ビクター株式会社

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番

地

(72) 考案者 府川 亜夫

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番

地 日本ビクター株式会社内

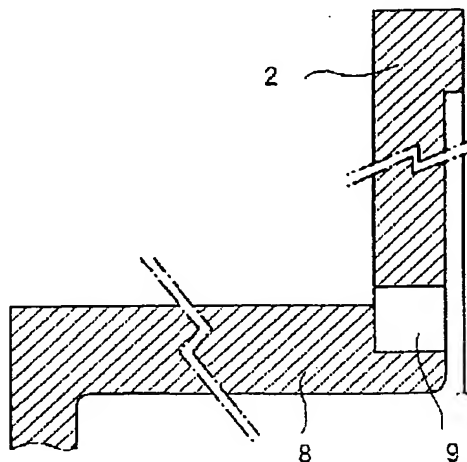
(74) 代理人 弁理士 下田 容一郎 (外1名)

(54) 【考案の名称】 テーブリール

(57) 【要約】

【目的】 テーブリールの円筒状ハブにクランプピース打込む時にクランプピースと係合する中央突起の変形を阻害しないようにする。

【構成】 円筒状ハブ1と一体形成した下フランジ2には、同じく円筒状ハブと一体形成した中央突起8と対向する部分に貫通孔9を形成して、下フランジ2と中央突起8とを切り離している。



(2)

実開平4-137579

1

【実用新案登録請求の範囲】

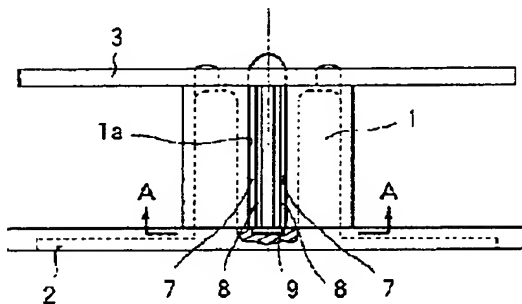
【請求項1】 円筒状ハブの側部に下フランジを一体形成し、他側部に上フランジを取付けるとともに、円筒状ハブの外周部に磁気テープ等の端部を係止するクランプピースの嵌合部を形成したテープリールにおいて、前記円筒状ハブの嵌合部には円筒状ハブと一体成形された中央突起が設けられ、この中央突起は前記下フランジと切り離されていることを特徴とするテープリール。

【図面の簡単な説明】

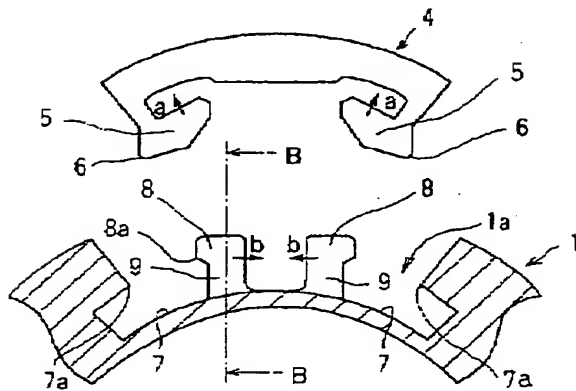
【図1】 本発案に係るテープリールの一部破断正面図

10

【図1】



【図2】



2

【図2】 図1をA-A方向から見た拡大断面図

【図3】 図2のB-B線断面図

【図4】 従来のテープリールの正面図

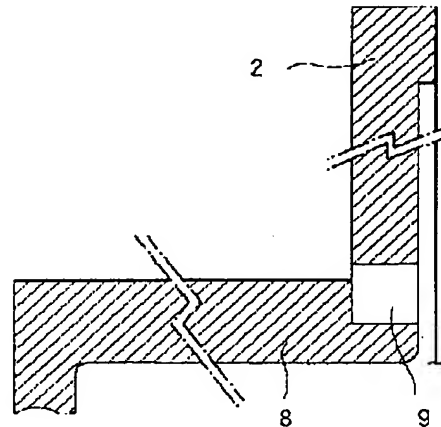
【図5】 図4をC-C方向から見た拡大断面図

【図6】 図5のD-D線断面図

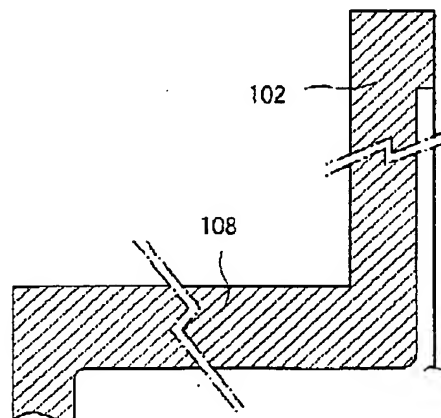
【符号の説明】

1…円筒状ハブ、2…下フランジ、3…上フランジ、4…クランプピース、6…係合部、7…クランプ溝、8…中央突起、9…貫通孔。

【図3】



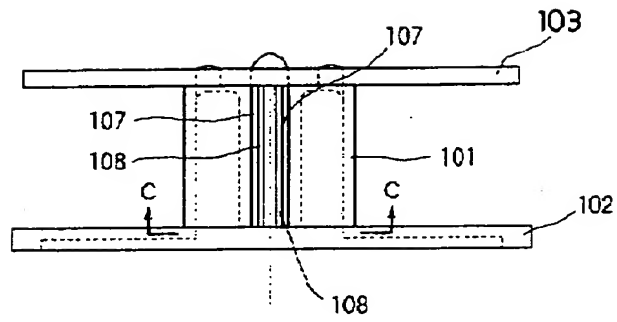
【図6】



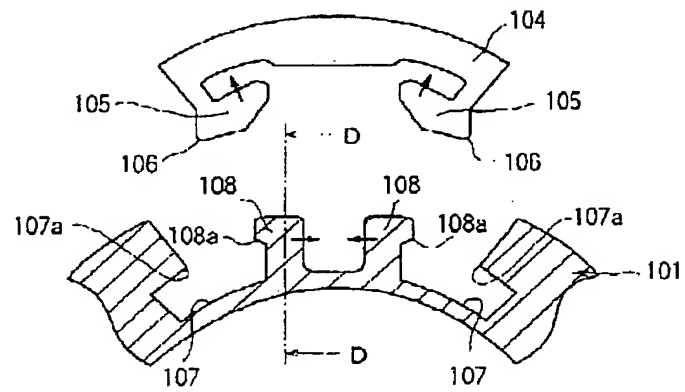
(3)

実開平4-137579

【図4】



【図5】



実開平4-137579

【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は磁気テープ等を巻回するテープリールに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来の磁気テープを巻回するテープリールとして特公昭57-13063号公報等に記載されているようなものがある。この先行技術は図4乃至図6に示すように、テープを巻回する円筒状ハブ101の一侧部にテープを案内する下フランジ102を一体形成し、他側部に別部品の上フランジ103を溶着等によって取付けている。

【0003】

そして、テープリールのテープ端部を係止する一方の部材であるクランプピース104の構造は、両側部に脚部105を形成し、この脚部105の先端に係合部106を形成し、また円筒状ハブ101には2個のクランプ溝107を中央突起108にて画成し、また中央突起108の先端にはアンダーカット部108aを形成し、円筒状ハブ101には側係止部107aを形成し、これらによりクランプピース104の係合部106が嵌入可能な嵌合部を形成している。

【0004】

而して、円筒状ハブ101のクランプ溝107内にクランプピース104の係合部106を押込むことにより、クランプピース104の係合部106が中央突起108のアンダーカット部108aを通過するときに、係合部106及び中央突起108が図5の矢示方向に変形し、係合部106がアンダーカット部108aを通過後復元することにより、クランプピース104が円筒状ハブ101に係止されてテープ端部をクランプする。

【0005】

【考案が解決しようとする課題】

しかしながら、上述したような従来のテープリールにあっては、円筒状ハブの中央突起が下フランジと一体形成されているために、中央突起の下端部は殆ど変

実開平4-137579

形せず、クランプピースの打込みに際して過度の力が必要になり、場合によっては打込むことが不可能になったり打込み不良が生じ易く、また中央突起或いは下フランジの変形部が破損したり、変形量に幅方向で差が生じてテープにしわが発生することがある。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本考案は上記の課題を解決するため、下フランジとクランプピース係合用の中央突起とを貫通孔を設ける等の手段によって切り離した。

【0007】

【作用】

テープリールの円筒状ハブと一体成形された下フランジとクランプピース係合用の中央突起とが切り離なされているので、クランプピースを打込む際に中央突起が小さな力で変形する。

【0008】

【実施例】

以下に本考案の実施例を添付図面を参照して説明する。ここで、図1は本考案に係るテープリールの一部破断正面図、図2は図1のA-A方向から見た拡大断面図、図3は図2のB-B線断面図である。

【0009】

テープリールは、テープを巻回する円筒状ハブ1の一側部にテープを案内する下フランジ2を一体形成し、他側部に別部品の上フランジ3を溶着等によって取付け、円筒状ハブ1の外周部に形成した嵌合部1aにクランプピース4に係合することでテープの端部を係止する構造となっている。

【0010】

前記クランプピース4は両側部に脚部5、5を有し、これら脚部5の先端に係合部6を形成し、一方円筒状ハブ1の嵌合部には2個のクランプ溝7を中央突起8にて画成し、この中央突起8の先端にはアンダーカット部8aを形成し、また円筒状ハブ1の嵌合部の開口端には外側係止部7aを設けている。

【0011】

実開平4-137579

更に、図3に示すように円筒状ハブと一体成形した下フランジ2には中央突起8、8と対向する分を肉抜きして貫通孔9を形成し、下フランジ2と中央突起8、8とを切り離している。

【0012】

以上のように構成したので、円筒状ハブ1にクランプピース4を打込んでテープ端部を係止する際、クランプピース4の係合部6が中央突起8のアンダーカット部8aを通過するときに、クランプピース4の係合部6が図2の矢示a方向に変形し、円筒状ハブ1中央突起8が同図の矢示b方向に変形し、係合部6がアンダーカット部8aを通過後、係合部6及び中央突起8が復元することにより、係合部6がクランプ溝7内に嵌合してクランプピース4が円筒状ハブ1に係止されてテープ端部をクランプする。

【0013】

このとき、下フランジ2には貫通孔9を形成して中央突起8と切り離しているため、中央突起8は自由に変形することができて、下フランジ2と接続されている場合のような変形不良は生じないので、クランプピース4を確実にクランプ溝7に嵌合させることができる。尚、下フランジ2と中央突起8との切り離しは上記実施例に限られない。

【0014】

【考案の効果】

以上に説明したように本考案によれば、テープリールの円筒状ハブと一体成形したフランジと同じく円筒状ハブと一体成形したクランプピース係合用の中央突起とを切り離したので、クランプピースを打込む際に中央突起の変形が阻害されず、クランプピースの打込みに際して過度の力が必要になったり、打込み不可能や打込み不良が生じることがなく、また中央突起或いは下フランジが破損したり、変形量に幅方向の差が生じてテープにしわが発生することもない。

This Page is inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ BLACK BORDERS
- ☒ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☒ COLORED OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REPERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images problems checked, please do not report the problems to the IFW Image Problem Mailbox